羅臼岳の火山活動解説資料（平成 30 年７月）

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・火口や噴気の状況（図１～３）

30日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、山頂付近から噴気は確認されず、赤外熱映像装置[1)]による観測では地熱域は認められませんでした。

1）赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器で、熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

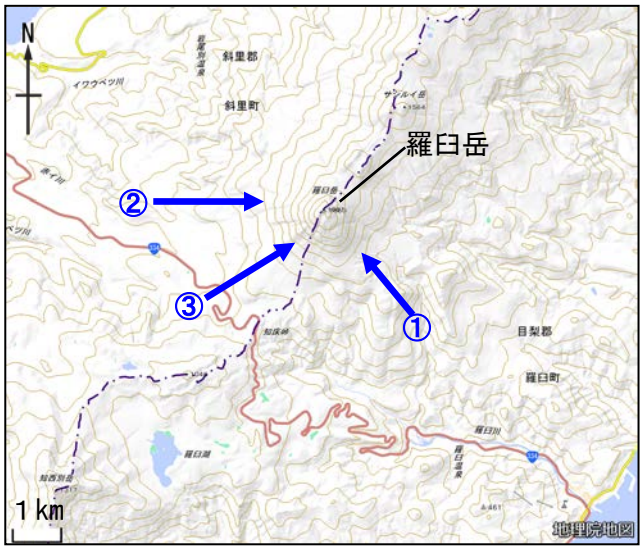

図１　羅臼岳　周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影方向（矢印）

図２　羅臼岳　全景写真
南東側（図１の①）から撮影

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(https://www.jma-net.go.jp/sapporo/)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル)』を複製しています（承認番号　平 29 情複、第 958 号)。

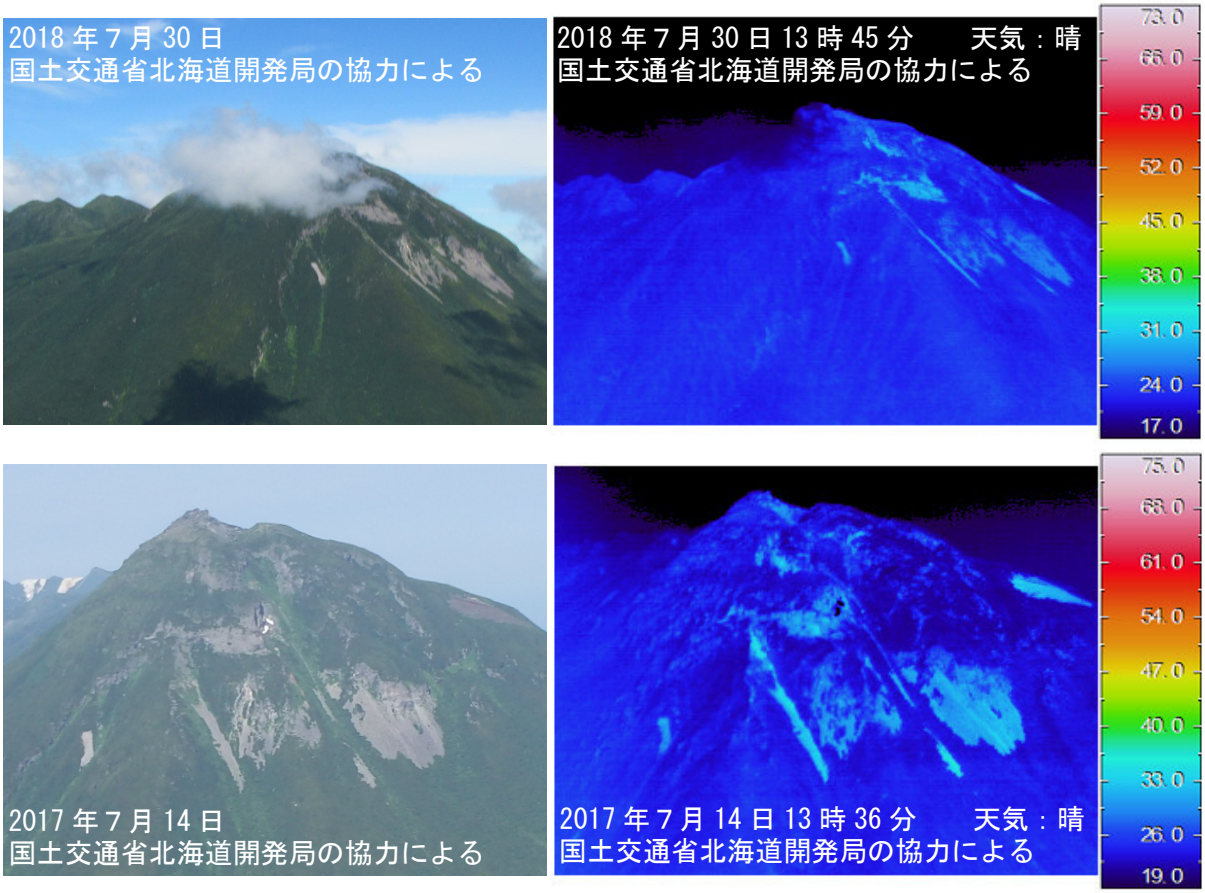

図３　羅臼岳　赤外熱映像装置による山頂付近の地表面温度分布の比較

上図：西側（図１の②）から撮影　　下図：南西側（図１の③）から撮影

・日射の影響を超える地熱域は認められませんでした。